授業科目名	開講年次	開講時期	単位数	時間数	実務経験
看護過程	1年次	後期	1	30	有

科目責任者	山口真依
授業概要	看護の実践は、アセスメント、看護問題の明確化、計画、実施、評価の一連の過程によって行われる。事例を用いた演習を通して、科学的根拠に基づいた看護の実践における思考過程を学ぶ。
目標	1. 看護過程の構成要素、目的、方法が説明できる。 2. 情報を整理し、分析、統合し、看護問題の優先順位が判断できる。 3. 根拠に基づき、対象者の状況に応じた看護計画が立案できる。

授業内容

回	内容	担当	授業方法
1	看護過程とその展開に必要な技能	山口	講義
2	アセスメント（データの収集）	山口	講義
3	アセスメント（データの整理：ヘンダーソンの看護理論に基づく枠組み）	山口	講義
4	アセスメント（データの分析）	山口	講義
5	アセスメント（全体像の把握・関連図）	山口	講義
6	看護が取り扱う問題とは ヘンダーソンの理論に基づく看護問題	山口	講義
7	看護問題の決定　優先順位	山口	講義
8	紙上患者のアセスメント（データの整理・分析）	山口	講義
9	紙上患者のアセスメント（データの整理・分析）	山口	演習
10	紙上患者のアセスメント（データの整理・分析）	山口	演習
11	紙上患者のアセスメント（データの整理・分析）	山口	演習
12	紙上患者のアセスメント（全体像の把握・関連図）	山口	演習
13	紙上患者の看護問題の決定優先順位	山口	演習
14	関連図　発表	山口	演習
15	関連図　発表	山口	演習

履修条件	なし
テキスト	系統看護学講座　専門分野　基礎看護学②　基礎看護技術Ⅰ　医学書院 ヘンダーソンの基本的看護に関する看護問題リスト　ヌーヴェルヒロカワ
参考書	看護がみえる vol.4　看護過程の展開　メディックメディア 看護過程を使ったヘンダーソン看護論の実践　ヌーヴェルヒロカワ
評価方法・基準	提出物（100%）・参加度（欠席１回で５点減点）この科目は、基礎看護学実習Ⅱの履修条件である。